

本書の使い方

※実際の紙面とは異なります

過去の臨床検査技師国家試験問題や演習問題を出題領域科目別にまとめた。

①医学概論、②公衆衛生学、③臨床検査医学総論、④臨床検査総論、⑤病理組織細胞学、⑥臨床生理学、⑦臨床化学、⑧医用工学概論、⑨臨床血液学、⑩臨床微生物学、⑪医動物学、⑫臨床免疫学、⑬関係法規、⑭染色体・遺伝子・核酸検査学

この分野でどのような問題が出されているかを分析、解説

4 臨床検査総論

【国家試験の出題傾向】

例年出題のある尿検査では、第68回(2022年)も尿沈渣の問題が出題されている。一般検査として糞便検査、髄液検査や検体保存に関連した問題が出題されていた。今年は検査管理学領域の問題が多かった。尿検査全般の出題は減少した。

☆：易しい
☆☆：標準
☆☆☆：難しい

国家試験出題基準(別冊88頁～)に対応した項目分類

【関連事項】ISO15190：臨床検査室の安全に関する要求事項、ISO22367：臨床検査室のリスク・マネジメントに関する要求事項

問題に関連して特に覚えておくべき事項

問 101★ 【I-①-5-D】(ID 2022001)

臨床検査室の品質と能力に関する国際規格はどれか。

1. ISO 9001
2. ISO 13485
3. ISO 15189
4. ISO 17025
5. ISO 22870

どのようなねらいで出題されたかを示す。

作問のねらい 医療の質と安全が問われる中、第三者機関による国際的な評価・認証が必要となっている。多くの国際規格があるが、その中でも臨床検査に関わるものについて問う問題である。

【注解】 ISOは国際標準化機構が定める国際標準で、商品やサービスの品質や安全に関わる規格である。認証を受けた機関は最低限の基準に適合していることが保証される。

1. ISO9001は品質マネジメントシステムの規格。
2. ISO13485は医療機器の品質管理システム構築のための規格。
3. ISO15189は臨床検査室の品質保証及び技術能力に関する規格。
4. ISO17025は試験所・校正機関の能力に関する規格。
5. ISO22870はPOCTの品質と能力に関する規格。

理解を深めるため、原則として選択肢1つずつに対して解説

選択肢のチェック 臨床検査室に関わるISO15189品質と能力に関する要求事項で2004年から認定審査が開始されている。評価項目は多岐にわたり日常の精度管理のみならず、人事管理、精度管理、職員教育などを文書化する必要がある。また管理運営を行うために計画(Plan)→検査実施・精度管理(Do)→分析・評価(Check)→対応策実施(Action)→計画(Plan)に戻るPDCAサイクルを活用して問題を洗い出して業務改善を継続的に行っていく努力が要求される。2016年に類似問題が出題されている。

既出の類似問題を分析、特によく使われる選択肢について解説

問 102★★★ 【I-①-5-D】(ID 2022022)

分析前プロセスの品質管理はどれか。2つ選べ。

1. 検体量の確認
2. 精度管理試料の測定
3. 精度管理成績の保存
4. 分析装置導入前の性能評価
5. 検体採取から測定開始までの時間の確認

作問のねらい 臨床検査の品質を分析の前、分析、分析後に分けて管理する。各プロセスに含まれる内容を問う設問である。問題点を洗い出しやすくし、改善する上で有効な方法である。

【注解】 臨床検査の品質管理の1つである、分析前プロセスとして検体の採取、検体の受領、搬送、仕

出題番号(午前：001～100、午後：101～200)

ID 2022004

出題年 1990～2022：既出問題(改変含む)
0000：1989年以前の既出問題(改変含む)
9999：オリジナル問題

問 103★ 【I-②-1-D】(ID 2022004)

尿沈渣の無染色標本〔4〕図(問103)：別冊]を別に示す。

この構造物の成分はどれか。

1. 尿酸
2. シスチン
3. ビリルビン
4. リン酸カルシウム
5. シュウ酸カルシウム

カラー設問図は別冊に一括掲載した。

作問のねらい 尿沈渣で検出される有形成分の1つに結晶がある。多くは臨床的意義が弱い特徴的

問101：3、問102：1,5、問103：5

最新の第69回(2023年)国家試験問題は、カリキュラム別に分類せず、別冊に一括掲載した。項目ごとに出版傾向を把握するため出題基準・出版傾向一覧を別冊に付した。